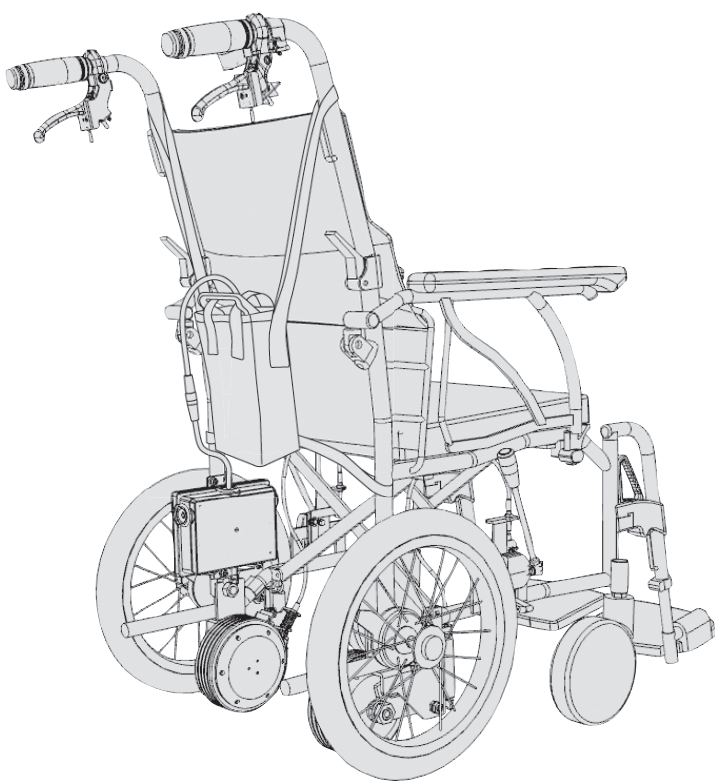


目次


安全上の注意	2
---------------	----------

使用上の注意／その他・付属品の確認	6
--------------------------	----------

各部の名称	7
--------------	----------

構成と特徴	8
--------------	----------

本製品の構成	8
--------	---

本製品の特徴	8
--------	---

ご使用の前に	9
---------------	----------

充電	9
----	---

バッテリーバッグの取り付け	9
---------------	---

バッテリーの取り付け／取り外し	10
-----------------	----

操作パネルの表示	10
----------	----

使用方法	11
-------------	-----------

駐車ブレーキ	11
--------	----

介助ブレーキ	11
--------	----

電源 ON/OFF	12
-----------	----

車いすの乗り降り	13
----------	----

車いすの操作	14
--------	----

保護機能	15
------	----

点検・整備	16
--------------	-----------

日常のお手入れ	16
---------	----

保管	16
----	----

日常点検	17
------	----

定期点検	18
------	----

トラブルシューティング	19
--------------------	-----------

仕様一覧	23
-------------	-----------

このたびは、介助用車いすアシストユニット 軽 e をご利用いただき、まことにありがとうございます。

ご使用前に必ず本取扱説明書、および車いすの取扱説明書をお読みのうえ、安全に正しくお使いください。



お読みいただいた後も取扱説明書は大切に保管してください。

安全上の注意



本製品（軽 e）は、専用の車いすに搭載することで、介助者の操作を検知して、移動のアシストを行い、介助の負担を軽減できる車いす用アシストユニットです。

はじめに、安全上の注意の内容をよくお読みいただき、記載内容を守って正しく安全にご使用ください。また、必ず車いすの取扱説明書もお読みいただいたうえでご使用ください。



● 表示の区分について

 警告	死亡や重大なけがにつながる可能性が想定されることを示します。
 注意	軽微なけがや装置の破損、故障につながる可能性があることを示します。

● シンボルマークについて

	禁止 けがや装置の破損のおそれがあるため、行ってはいけない行為を示します。
	遵守 安全にご使用いただくために守っていただきたいことを示します。

警告

	指定外のバッテリーを、使用したり充電器に取り付けたりしないでください。 けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。		バッテリーは下記のような誤った使いかたをしないでください。 発熱、発火、破裂の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">・ 付属の充電器以外で充電しない・ 火への投入・加熱をしない・ 釘を刺したり、衝撃を与えない・ 分解・改造しない・ 火のそばや炎天下など高温の場所で充電、使用、保管しない・ 屋外で脱着、充電しない・ 落としたり、何らかの損傷を受けた場合は使用しない・ 破損や変形などの異常が認められる場合は使用しない
	付属のバッテリーを本製品以外に使用しないでください。 発熱、発火、破裂の原因になります。		バッテリーの充電は必ず監視のもとで行い、充電したまま長時間放置しないでください。 異常に気が付いたときは、すぐに電源プラグを抜いて充電を中止してください。 発熱、発火、破裂の原因になります。
	使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。 発熱、発火、破裂の原因になります。		
	バッテリーや充電器のコードを引っばったり、乱暴に扱ったりしないでください。また、コードに損傷がある場合は、使用しないでください。 発熱、発火、破裂の原因になります。		
	本体やバッテリー、充電器を水洗いしたり、水や薬品などをかけたりしないでください。 バッテリーがショートし、発火などの原因になります。		
	ぬれた手でバッテリーの取り付け、取り外しをしないでください。 感電の原因になります。		バッテリーや充電器の端子に金属片などを接触させないでください。 ショートし、発火などの原因になります。

警告

<div data-bbox="132 902 201 976" data-label="Image"></div> <p>バッテリープラグ、バッテリーコネクタに水分が付着している状態で接続しないでください。</p> <p>水分が付着している場合は、乾いた布などでふき取って、乾燥させてください。水分が付着しているとショートするおそれがあり、発火などの原因になります。</p> <p>本製品を本来の用途以外の目的で使用しないでください。</p> <p>本製品は、下記のような場所では使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 階段、エスカレーター、動く歩道での使用 ・ 14°を超える上り坂での使用（下り坂では、必ず後ろ向き降坂で使用してください。） ・ 柔らかい砂地、草地、雪道など滑りやすい場所での使用 ・ 使用温度範囲外（0℃未満、40℃超）での使用 <p>事故、けが、故障の原因になります。</p> <p>本製品を分解、改造、修理しないでください。</p> <p>修理は裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>車いす本体に異常がある状態で使用しないでください。</p> <p>事故やけがの原因になります。異常がある場合は、速やかに裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>	<div data-bbox="818 902 887 976" data-label="Image"></div> <p>急な旋回や、急発進／急停止をしないでください。</p> <p>搭乗者が落下して事故やけがの原因になります。</p> <p>車いすの耐荷重を超えるような使いかたはしないでください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p> <p>大雨の中での使用や、雨天時の長時間の使用はしないでください。また、結露したときは使用しないでください。</p> <p>発火、感電、故障などの原因になります。</p> <p>フットサポートの上に立ったり、腰掛けたりしないでください。</p> <p>けがや破損の原因になります。</p> <p>坂道の途中で駐車しないでください。</p> <p>事故やけがの原因になります。やむを得ず駐車する場合は、必ず2輪以上に車止めをしてください。</p> <p>坂道や傾いた場所で、車いすの乗り降りをしないでください。また、必ず車いすの駐車ブレーキをかけて、電源を OFF にして乗り降りしてください。</p> <p>坂道や傾いた場所での乗り降りや、電源 ON にして乗り降りすると、バランスを崩して事故やけがの原因になります。</p> <p>子供が触れる場所に保管や放置、駐車をしないでください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p>
<div data-bbox="132 1821 201 1895" data-label="Image"></div> <p>本書、および車いすの取扱説明書をよく読んで、本製品の取り扱い方法を十分に把握してから使用してください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p> <p>搭乗者が車いすの操作を行うことはできません。車いすの操作は必ず介助者が行ってください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p> <p>搭乗中に介助者が車いすから離れる場合や長時間停止する場合は、必ず電源を OFF にして駐車ブレーキをかけてください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p>	<div data-bbox="818 1821 887 1895" data-label="Image"></div> <p>ご使用前の点検、および定期点検を必ず行ってください。（P.17 参照）</p> <p>点検の際は、必ず車いすの取扱説明書も確認してください。</p> <p>異常や不具合がある場合は、P.19 のトラブルシューティングをご確認ください。問題が解決しない場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>タイヤなどの交換が必要な場合は、必ず新しい部品と交換してから使用してください。</p> <p>事故やけがの原因になります。交換が必要な場合は裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>

安全上の注意（つづき）

警告

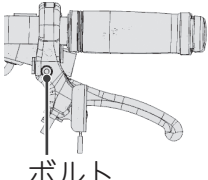
<p>!</p> <p>使用中は、介助者が常に搭乗者の状態を確認してください。また、搭乗者が異常を感じた場合、すぐに介助者に知らせるように説明してください。</p> <p>異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源を OFF にしてください。</p> <p>P.19 のトラブルシューティングに従っても問題が解決しない場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>搭乗者を車いすに乗せるときは、バックサポートなどの可動部がしっかり固定されていることを確認してください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p> <p>車いすの展開／折りたたみや、可動部を調節するときは手などを挟まないように気を付けてください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p> <p>必ず車いすの取扱説明書をご確認のうえ、調節を行ってください。</p> <p>操作時は地面の凹凸や障害物に十分注意してください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p>	<p>!</p> <p>駐車ブレーキをかけるときは、必ず左右両方ともしっかりとかけてください。駐車ブレーキをかけていても、横からの力が加わると車いすが動きますので、注意してください。</p> <p>事故、けが、破損の原因になります。</p> <p>下り坂では必ず介助ブレーキレバーに手を添えて操作してください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p> <p>バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の診断を受けてください。</p> <p>目に障害を与える原因になります。</p> <p>バッテリーを使用しないときは、付属の端子保護キャップを装着してください。</p> <p>発熱、発火、破裂の原因になります。</p> <p>充電するときは周囲に物が無い、平坦な安定した場所で行ってください。</p> <p>発火や破損、故障の原因になります。</p> <p>コンセントから充電器の電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。</p> <p>破損や故障の原因になります。</p>
---	--

注意

<p>⊘</p> <p>ブレーキワイヤーを引っ張ったり、引っ掛けたりしないでください。</p> <p>故障の原因になります。</p> <p>制御ボックス、バッテリー、充電器の端子部に触らないでください。</p> <p>けがや破損の原因になります。</p> <p>充電中はバッテリー表面に長時間触れ続けしないでください。</p> <p>やけどの原因になります。</p> <p>使用後は電動駆動輪が熱くなることがあるため、触れないでください。</p> <p>やけどの原因になります。</p> <p>介助者、または搭乗者が飲酒、服薬をしている場合や、体調がすぐれない場合は、使用しないでください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p>	<p>⊘</p> <p>手押しハンドルやフレームに手荷物などをかけないでください。</p> <p>後方に転倒する危険や、誤動作が起きる可能性があります、事故の原因になります。</p> <p>高い段差を無理に乗り越えないでください。</p> <p>事故やけがの原因になります。</p> <p>本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。</p> <p>破損や故障の原因になります。</p> <p>車いすを後方に倒したまま長時間放置したり、後方に転倒して手押しハンドルに衝撃を加えないでください。</p> <p>故障の原因になります。</p> <div data-bbox="1260 1937 1460 2139"> </div>
--	---

⚠ 注意

⊘ 介助ブレーキのボルトを緩めたり、締め付けたりしないでください。
ブレーキセンサーが正しく動作しなくなるおそれがあります。ボルトを緩める／締め付ける必要がある場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。



ボルト

⊘ 電源が ON の状態で、バッテリーを取り外さないでください。
発火、感電、故障などの原因になります。

⊘ バッテリー以外のコネクタを取り外さないでください。
端子がショートし、発火、感電、故障などの原因になります。

⊘ 本体を下記のような場所で、保管／放置しないでください。

- ・車のトランクなど高温多湿になる場所
- ・屋外など、雨・露の影響がある場所
- ・海辺など潮風の影響がある場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・エアコンの吹き出し口付近
- ・ペットが近づく場所

破損や故障の原因になります。

⊘ 下記のものでお手入れしないでください。

- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・クレゾール
- ・熱湯
- ・磨き粉
- ・塩素系洗剤
- ・タワシ
- ・研磨剤入りのスポンジ
- ・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・その他製品を傷つけるもの

劣化および破損の原因になります。

⊘ 下記のもので消毒などしないでください。

- ・オゾンガス
- ・オゾン水
- ・ホルムアルデヒドガス

破損の原因になります。

⚠ 電源プラグやバッテリー、およびバッテリーコネクタは、定期的に乾いた布でほこりなどをふき取ってください。
ほこりが溜まったまま使用を続けると、動作不良や発火の原因になります。

⚠ 充電器を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。
発熱、発火の原因になります。

⚠ バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、直ちにきれいな水で十分洗い流してください。
皮膚に障害を与える原因になります。

⚠ タイヤに衣服やタオルなどが巻き込まれないように注意してください。
事故やけがの原因になります。

⚠ 人が多いところで使用する場合は、周囲に十分注意してください。
事故やけがの原因になります。

⚠ 車いすを操作するときや移動させるときは、必ず両手で手押しハンドルを持ってください。
転倒による、事故やけがの原因になります。

⚠ 水たまりは避けてください。もし、急な雨などでぬれた場合は、乾いた布でふき取ってください。
大雨などで、水をかぶってしまった場合は裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡のうえ、使用を継続できるか確認してください。水がかかったまま放置すると、さびやカビによる破損の原因になります。

⚠ 傾斜路に対して、できるだけ真っ直ぐ進入してください。危険を感じた場合は、無理に進もうとせず、他の安全なルートを選択してください。
転倒するおそれがあり、事故やけがの原因になります。

⚠ 使用後は必ず電源を OFF にしてください。
手押しハンドルに触れることで本体が動き、事故やけがの原因になります。

安全上の注意（つづき）

⚠ 注意

<p>❗</p> <p>運搬時など持ち上げるときは、車いすのフレーム部分を持ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可動部分の手押しハンドルや、電動駆動輪付近を持って、持ち上げないでください。 ・配線やブレーキワイヤーを持って、持ち上げないでください。 <p>手指を挟まれたり、バランスを崩してけがの原因になります。また、断線など故障の原因になります。</p>	<p>❗</p> <p>本体を運搬したり、車に積載したりするときは、電源を OFF にして、バッテリーを取り外してください。</p> <p>事故、故障の原因になります。</p> <p>使用しないときは、平らな安定した場所で保管してください。</p> <p>事故、けが、故障の原因になります。</p>
--	---

使用上の注意／その他

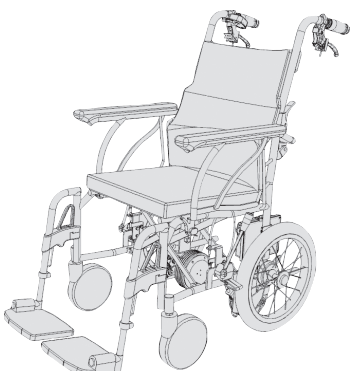
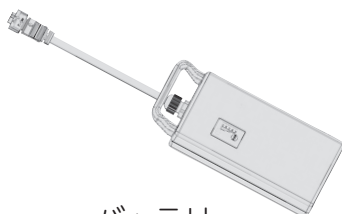
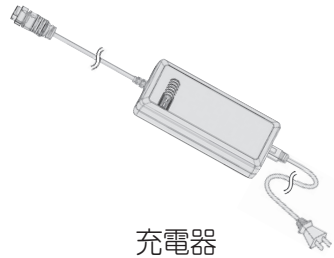
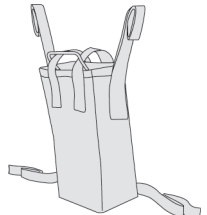

- ・車いすを使用して公共交通機関などを利用する場合は、事前に持ち込み先にお問い合わせのうえ、係員の指示に従い安全に搭乗してください。
- ・公共の場で使用する場合、車いすは歩行者として扱われます。安全のために交通ルールを守り、マナーや周囲の安全に十分注意して使用してください。

付属品の確認

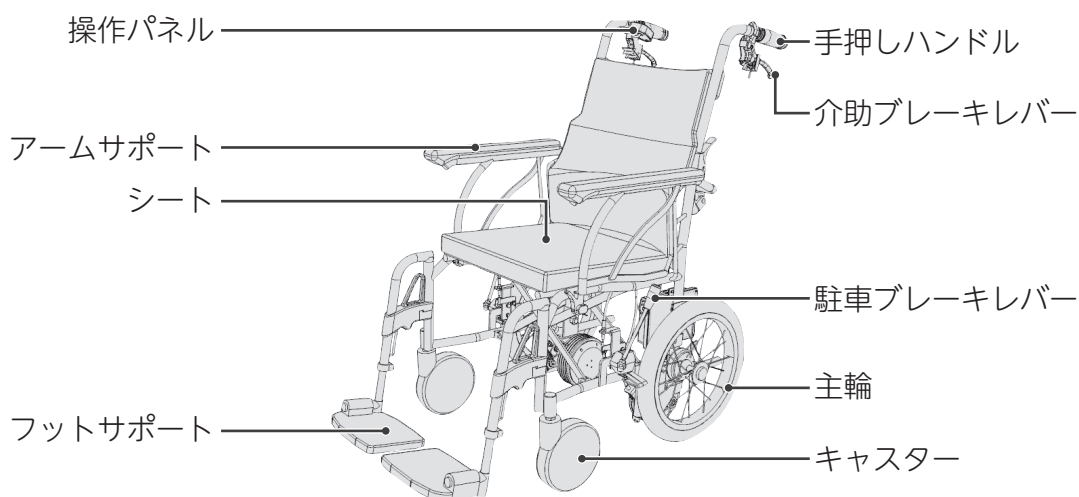
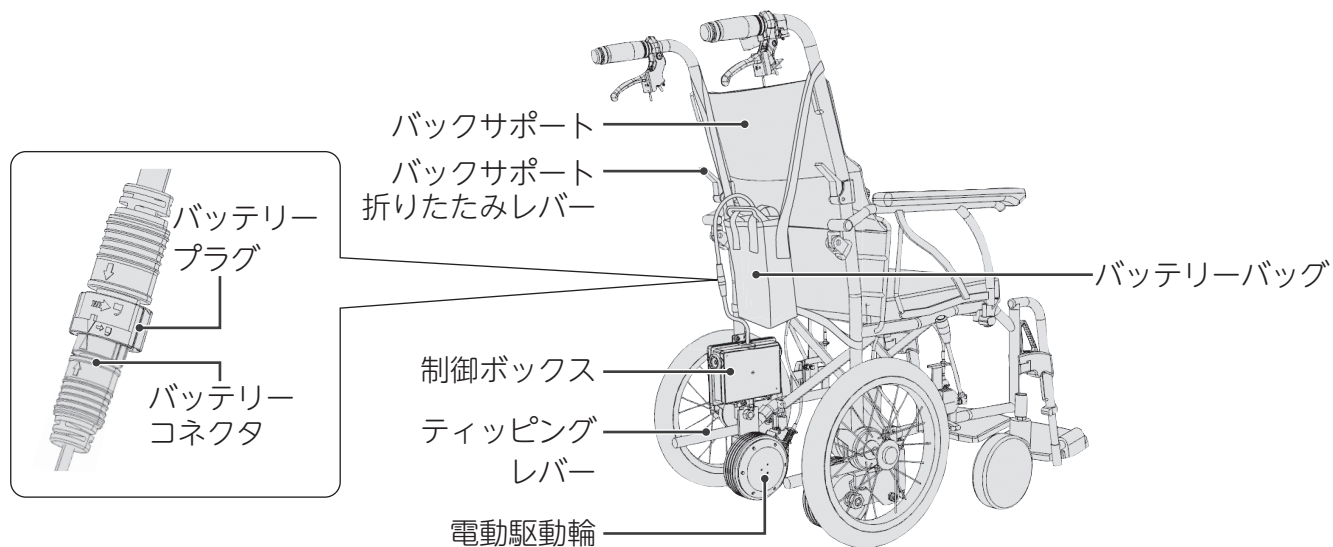
下記の内容がすべて揃っていることを確認してください。

- ・不足がある場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

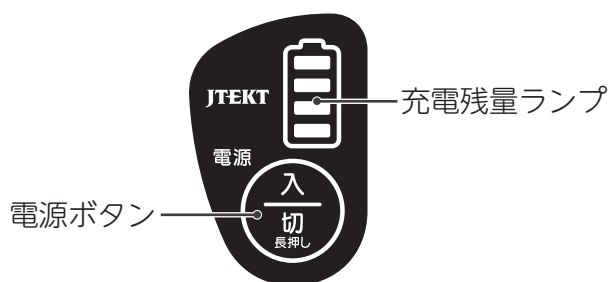
● 付属品

 <p>本体 (車いす・アシストユニット)</p>	 <p>バッテリー</p>	 <p>充電器</p>
	 <p>バッテリーバッグ</p>	 <p>取扱説明書（本書）</p>

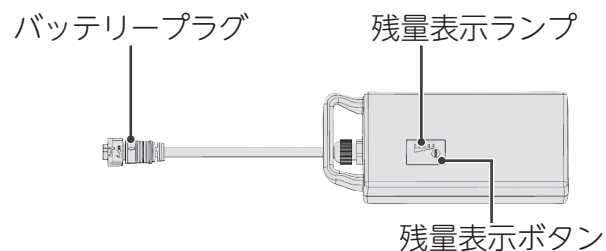
各部の名称



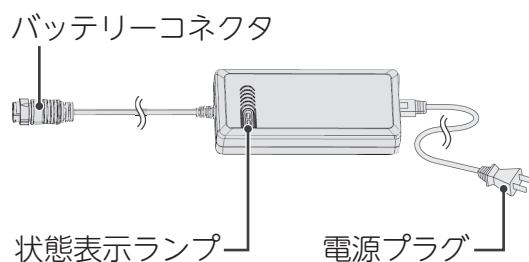
● 操作パネル



● バッテリー



● 充電器



・本書のイラストは実物と異なる場合があります。

構成と特徴

本製品は日進医療器株式会社製の車いす専用の介助用車いすアシストユニットです。

本製品の構成

本製品は介助用車いすに下記のアシストユニットを組み込んで構成されています。

- ・アシストユニットは株式会社ジェイテクトの製品です。

● アシストユニット

- ・手押しハンドル.....介助者が車いすを押し引きする力を検知します。
- ・制御ボックス.....手押しハンドルでの検知と電動駆動輪の動作を制御します。
- ・電動駆動輪.....組み込まれたモーターが、移動をアシストします。
- ・操作パネル.....アシストユニットの電源 ON/OFF、充電残量の確認ができます。
- ・バッテリー

本製品の特徴

アシストユニットの電源を ON にすると、手押しハンドルにかかる力を検知し、介助者の歩行速度に合わせて車いすの操作をアシストします。

電源を OFF にすると、通常の介助用車いすとして使用できます。

・前進アシスト

手押しハンドルで前方への移動を検知して、電動駆動輪のアシストにより、通常の車いすより軽い力で前進できます。坂道でも通常の車いすより軽い力で上ることができます。

・旋回アシスト

左右それぞれの手押しハンドルが旋回する際の力の方向を検知して、旋回動作をアシストします。

・下り坂アシスト

電動駆動輪のアシストで車いすを支えながら、介助者が進むスピードに合わせて、より安全に下り坂を下ることができます。

・自動ブレーキ

手押しハンドルで把持状態を検知して、介助者が急に手を離した場合に自動でブレーキがかかります。

- あくまで緊急時の一時的なアシストですので、長時間停止する場合や、一時的に介助者が車いすから離れる場合は、駐車ブレーキをかけてください。

また、搭乗者の体重や坂道の勾配によっては十分なブレーキがかからない場合があります。

・ふらつき抑制

前進中に介助者がやむを得ず一時的に片手を離してしまっても、直進性を維持することで車いすのふらつきを抑制します。

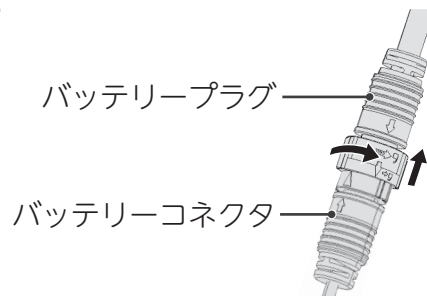
- 片手での操作を可能とする機能ではありません。片手での操作は危険ですので、必ず両方の手押しハンドルを持って操作してください。

ご使用の前に

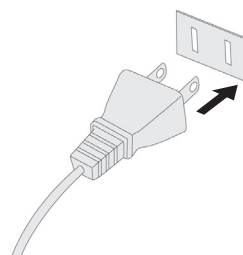
充電

バッテリーの充電残量が少なくなっている場合は、バッテリーを充電してください。

- 1 バッテリープラグを回して、バッテリーコネクタから取りはずす



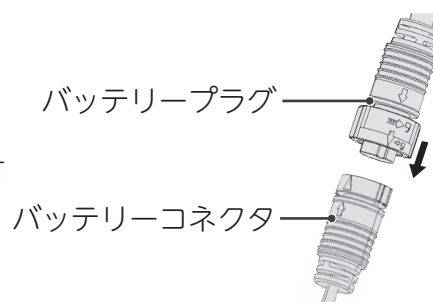
- 2 専用充電器の電源プラグをコンセントに差し込む
状態表示ランプ（赤）が3回点滅します。



- 3 専用充電器のコネクタにバッテリープラグを差し込む

充電が開始されると、状態表示ランプ（赤）が点灯します。
状態表示ランプ（赤）が消灯し、状態表示ランプ（緑）が点灯したら充電完了です。

- ・バッテリーはバッテリーバッグに入れたままでも充電できます。



- 4 充電が完了したら、専用充電器のバッテリーコネクタから、バッテリープラグを取りはずす

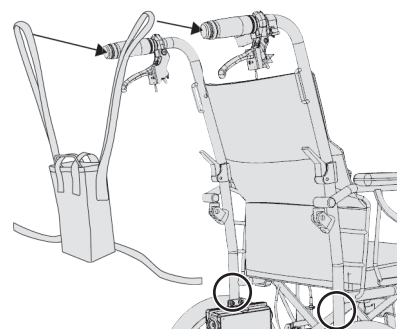
■ ご注意 ■

- ・充電中に、状態表示ランプ（緑）が点滅、または両方の状態表示ランプが点滅した場合は、エラーが発生しています。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。(P.22 参照)

バッテリーバッグの取り付け

- 1 手押しハンドルに、バッテリーバッグを引っ掛ける

- 2 車いす下部○の位置にバッテリーバッグの面ファスナーで固定する



ご使用の前に（つづき）

バッテリーの取り付け／取り外し

■ ご注意 ■

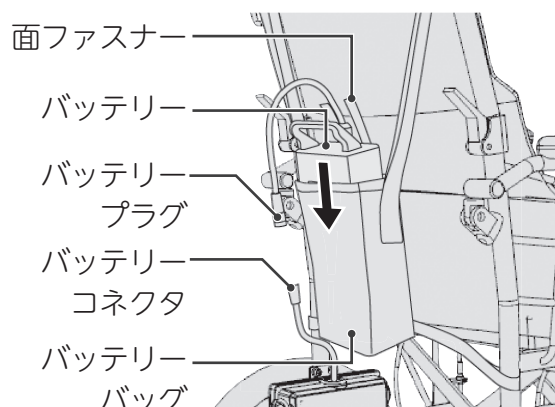
- ・バッテリーを取り付ける／取り外すときや持ち運ぶときは、取っ手部分を持ってください。

● バッテリーを取り付ける

1 バッテリーをバッテリーバッグに入れて、面ファスナーを貼り付けて固定する

2 バッテリーのバッテリープラグを制御ボックスのバッテリーコネクタに差し込み、回してロックする

「カチッ」という音がするまで、しっかりと差し込んでください。



● バッテリーを取り外す

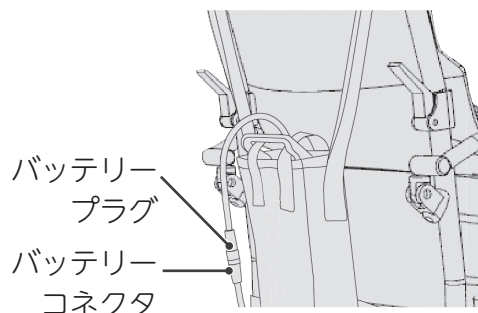
使用しないときはバッテリーを本体から外してください。

■ ご注意 ■

- ・長期間使用しないときはバッテリーを充電してから、バッテリープラグをバッテリーコネクタから取り外して保管してください。
- ・バッテリーを取り付ける／取り外すときは、必ず電源を OFF にしてください。（P.12 参照）

1 バッテリープラグを回して、バッテリーコネクタから取りはずす（P.9 参照）

2 バッテリーバッグの面ファスナーを剥がしてからバッテリーを抜き出す



操作パネルの表示

充電残量ランプでバッテリーの充電残量を確認できます。

- ・充電残量が 10% 未満になると、ブザーが鳴り、充電残量ランプが 1 個点滅します。その場合は、バッテリーを充電してください。（P.9 参照）

充電残量ランプ表示		充電残量（目安）
	4 個点灯	80% 以上
	3 個点灯	50% ～ 79%
	2 個点灯	20% ～ 49%
	1 個点灯	10% ～ 19%
	1 個点滅	10% 未満

- ・ブザーが鳴り、充電残量ランプが点滅している場合は、エラーが発生しています。P.20 に記載の対処方法に従ってください。

使用方法

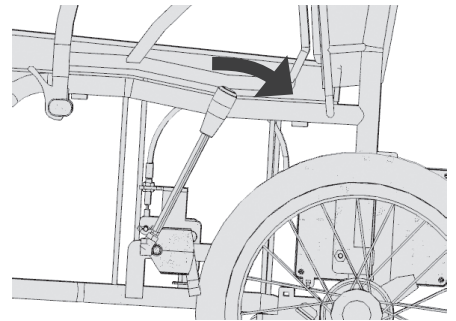
駐車ブレーキ

■ ご注意 ■

- ・ 駐車ブレーキレバーを足で操作したり、体重を預けて操作したりしないでください。
- ・ 駐車ブレーキレバー操作時は、ブレーキシューやタイヤに手指が当たらないように注意してください。

● 駐車ブレーキをかける

1 駐車ブレーキレバーを後ろへ倒す

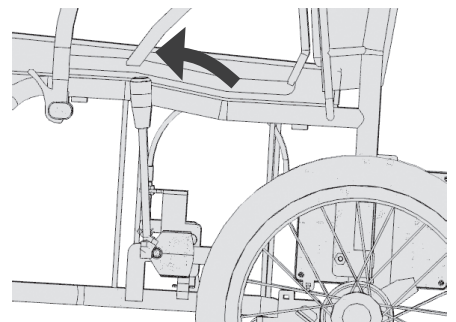


2 車いすが動かないことを確認する

● 駐車ブレーキを解除する

1 駐車ブレーキレバーを前へ起こす

駐車ブレーキが解除されて車いすが動くようになります。



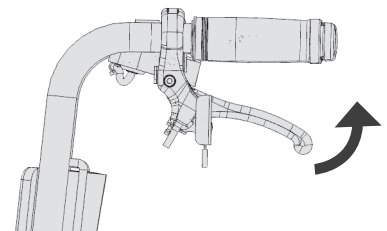
■ ご注意 ■

- ・ 駐車ブレーキを解除するときに手押しハンドルに触れないでください。

介助ブレーキ

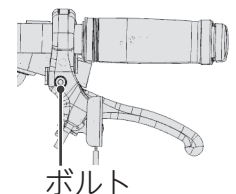
● 介助ブレーキをかける

左右の介助ブレーキレバーを握ると
ブレーキがかかります。



■ ご注意 ■

- ・ 介助ブレーキをかけるときは、必ず左右両方の介助ブレーキレバーを握ってください。
- ・ 介助ブレーキを駐車目的で使用しないでください。
- ・ 介助ブレーキのボルトを緩めたり、締め付けたりすると、ブレーキセンサーが正しく動作しなくなるおそれがあります。ボルトを緩める／締め付ける必要がある場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。



使用方法（つづき）

電源 ON/OFF

ご注意

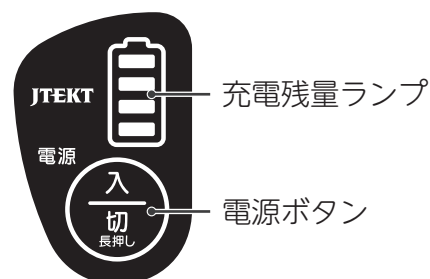
- ・坂道に止めた状態や、手押しハンドルに触れた状態で電源を ON/OFF すると、思わぬ動作をすることがあります。必ず平坦な場所で駐車ブレーキをかけて、手押しハンドルから手を離して電源を ON/OFF してください。
- ・車いすを移動させながら、電源を ON にすることはできません。
- ・電源を ON にして、搭乗者を乗せずに車いすを移動する場合、車いすの急な動きを抑えるために一時的にブレーキがかかることがあります。移動させづらい場合は、電源を OFF にして移動させてください。
- ・屋内で電源 ON にして操作すると、床面を傷つけるおそれがあります。屋内では、電源を OFF にして使用することをおすすめします。

電源ボタンを 2 秒間以上長押しする

ブザーが鳴り、電源が ON / OFF されます。

電源を ON にするときは、駐車ブレーキをかけて、手押しハンドルから手を離して電源ボタンを長押ししてください。

電源が ON になると、充電残量ランプが点灯します。（P.10 参照）

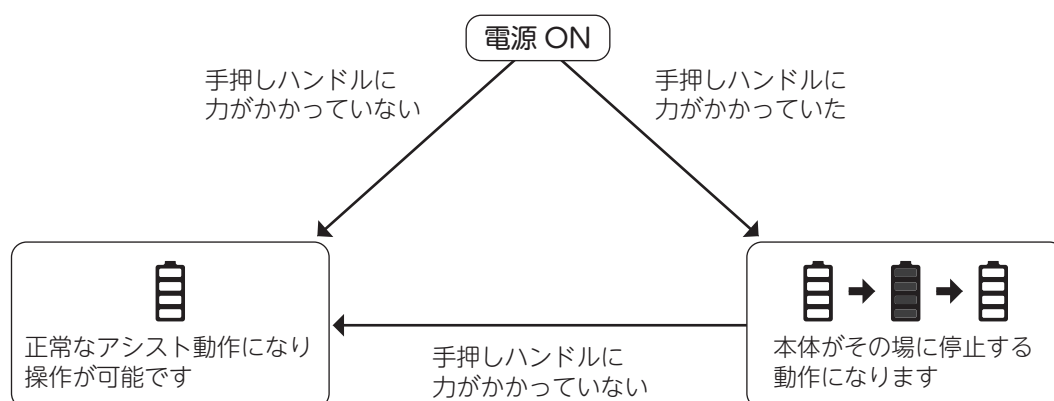


- ・車いすが停止している状態で、3 分間経過するとブザーが鳴り、お知らせします。車いすを動かすと、ブザーは止まります。駐車するときは、駐車ブレーキをかけて電源を OFF にしてください。
- ・車いすが停止している状態で、30 分間手押しハンドルの操作がない場合は、自動的に電源が OFF になります。

手押しハンドルに力がかかった状態での電源 ON

坂道にさしかかった状態や、坂道の途中などで手押しハンドルに力がかかった状態で電源を ON にすると、充電残量ランプが点滅して、本体はその場に停止する動作になります。

この場合、一度手押しハンドルから力を抜くと、充電残量ランプが点灯状態に変わり、通常の操作が可能になります。



車いすの乗り降り

車いすの乗り降りには必ず左右両方の駐車ブレーキをかけて、電源を OFF にしてから、車いすが動かない状態で行ってください。必ず車いすの取扱説明書もご確認のうえ、乗り降りしてください。

■ ご注意 ■

- ・ ご使用前に必ず日常点検（P.17 参照）を行い、異常がないことを確認してください。
- ・ 駐車ブレーキをかけても、横から強い力が加わると車いす動きますので、乗降時などは十分注意してください。

1 車いすを広げて各部がしっかりとロックされているか確認する

- ・ 詳しくは車いすの取扱説明書をご確認ください。

2 左右両方の駐車ブレーキをかける（P.11 参照）

3 電源を OFF にする（P.12 参照）

車いすに乗る場合

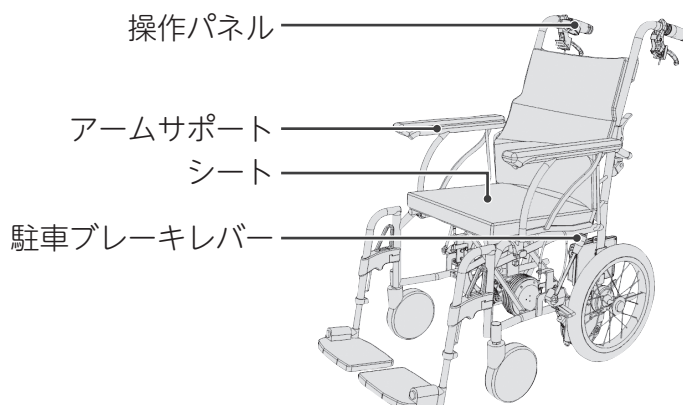
4 搭乗者を車いすのシートに座らせる

- ・ 車いすのアームサポートが動く場合は、アームサポートを跳ね上げて、車いすへ移乗できます。詳しくは、車いすの取扱説明書をご確認ください。

車いすから降りる場合

4 搭乗者が車いすのシートから降りる

- ・ 各部の折りたたみかたや、車いすの保管について、詳しくは車いすの取扱説明書をご確認ください。



使用方法（つづき）

車いすの操作

車いすを移動させる前に駐車ブレーキが解除されていることを確認してください。（P.11 参照）

左右両方の手押しハンドルを握って車いすを操作すると、介助者の力を検知してアシストが働きます。基本的には、通常の車いすと同様に操作してください。

- ・詳しくは車いすの取扱説明書をご確認ください。

■ ご注意 ■

- ・操作を始める前に、必ず下記を確認してください。
 - 搭乗者が車いすに深く腰掛けて体勢が安定していること
 - 搭乗者の足がフットサポートに乗っていること
 - 身体や衣服がタイヤに挟まれていないこと、挟まれるおそれがないこと
- ・電源 ON にして（P.12 参照）、アシストの上限を超える速度で操作すると、アシストが一時的に OFF になります。
一度速度を落とすと、自動的にアシストが ON に戻ります。
- ・手押しハンドルにもたれたり、体重をかけたりしないでください。
- ・坂道を前向きで下ると、搭乗者が前方へ転倒したり、ずり落ちたりする可能性があります危険ですので、後ろ向きで下ってください。
- ・電源 ON のときは、操作中に手押しハンドルから手を離すと、車いすが停止します。
- ・バッテリーの充電残量によっては、アシストが働かなくなる可能性があります。その場合は、介助ブレーキを操作して安全な場所へ退避してください。
電源 OFF（P.12 参照）のときや、バッテリーの充電残量が残っていても通常の車いすと同じように使用できます。ただし、アシストが働かないため、車いすを操作する場合（特に坂道の上下り下りなど）は、十分にご注意ください。
- ・急な旋回や、急発進／急停止しないでください。搭乗者が落下するおそれがあります。

● 段差を登る／降りる

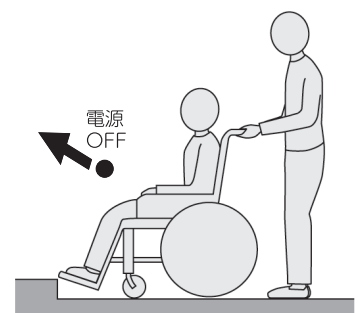
1 段差の直前で停止して、電源を OFF にする （P.12 参照）

2 車いすの取扱説明書に従って段差を登る／降りる

段差に登った後／降りた後にアシストが必要な場合は、電源を ON にして、操作してください。

■ ご注意 ■

- ・段差を前向きで降りると、搭乗者が前方へ転倒したり、ずり落ちたりする可能性があります危険ですので、後ろ向きで降りてください。



保護機能

坂道などで操作を続けると、モーターの発熱による故障につながるおそれがあります。

モーターが発熱し一定の温度を超えると、システムを保護するための保護機能が働き、アシストが制限されるため、車いすが重たく感じる場合があります。

- 保護機能によりアシストが制限されても、しばらく使用できますが、車いすが重たく感じる場合は平地など安全な場所まで移動してください。
移動後、モーターを冷ますために電源を OFF にして、一定時間経過してから再度使用してください。
電源を OFF にしていても、通常の車いすと同じように使用できます。
- 保護機能によるアシスト制限中に使用を継続し、さらにモーターの温度が上昇して一定の温度に達すると、故障防止のためブザーで高温度状態をお知らせします。
ブザーが鳴った場合は、安全のため平らな路面に移動して、一度電源を OFF にしてください。
移動後、モーターを冷ますために一定時間経過してから再度使用してください。
ブザーが鳴ってからも電源 ON のまま使用を続けると、モーターの温度上昇による故障を防止するため、ブザーが鳴り（ピピピ、ピピピ、ピピピ）アシストが OFF になります。

点検・整備

日常のお手入れ

■ ご注意 ■

- ・ 本体に泥などの汚れが付いた場合は、下記手順に従って清掃してください。
放置すると、さびが発生するおそれがあり、破損の原因になります。
- ・ P.5 の使用できない薬剤などをご確認のうえ、お手入れを行ってください。
- ・ 本製品に水や消毒液などをかけたり、霧吹きで吹きかけたりしないでください。

1 水で濡らした布を固くしぼって泥などの汚れをふき取る

2 乾いた布で水分をふき取る

消毒する場合

- ・ 手押しハンドル周辺など、手で触れるところは、消毒用エタノールを染み込ませた布でふいてください。

お知らせ

- ・ 車いす全体の消毒を行う場合は、専門業者への依頼が必要ですので、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

保管

使用後は、本体を折りたたんで安定したところに保管してください。

- ・ 詳しくは車いすの取扱説明書をご確認ください。

日常点検

本製品をご使用いただく前に、必ず下記に従って点検を行ってください。

必ず車いすの取扱説明書に記載の点検も行ってからご使用ください。

点検の結果、異常がある場合は使用を中止し、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

点検項目	内容	参照
全体	<ul style="list-style-type: none"> ガタつきやネジのゆるみがないことを確認してください。 車いすを動かしたときに、異常な音や、ガタつきがないか確認してください。 	—
タイヤ (主輪／キャスト／電動駆動輪)	<ul style="list-style-type: none"> すり減っていないか確認してください。 表面に釘が刺さっているなどの異常がないか確認してください。 	P.7
ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> 駐車ブレーキがしっかりとかかることを確認してください。 左右それぞれの介助ブレーキレバーを握って、ブレーキがしっかりとかかることを確認してください。 	P.11
操作パネル	<ul style="list-style-type: none"> 取り付け部のネジのゆるみがないことを確認してください。 	P.7
外観	<ul style="list-style-type: none"> 制御ボックスや操作部などに割れやヒビがないか確認してください。 制御ボックスのグロメットが抜けていないか、抜けかけていないか確認してください。 	P.7
バッテリー	<ul style="list-style-type: none"> 充電残量が十分に残っていることを確認してください。 バッテリーコネクタがしっかりと接続されていることを確認してください。 	P.10
手押しハンドル・アシスト性能	<ul style="list-style-type: none"> 手押しハンドルにべたつきや割れなどの劣化がないか確認してください。 手押しハンドルを握って、前進、後退、旋回時に正しくアシストが働いていることを確認してください。 	P.7 P.14

点検・整備（つづき）

定期点検

本製品を安全にご使用いただくために、定期的に販売店による点検を受け、不具合がないかご確認をお願いします。定期点検については、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

● 標準使用期間

本製品（軽 e:アシストユニット）の設計上の標準使用期間は 6 年です。（電動駆動輪、手押しハンドル、バッテリーなどの消耗品除く）

標準使用期間とは、定期的に点検整備を行ったうえで、製品の性能が維持できると考えられる期間です。















- ・ 標準使用期間を過ぎて使用を続ける場合は、本製品の交換を推奨します。
- ・ 使用状況や走行距離により、標準使用期間前に、製品の性能が維持できなくなる場合があります。


















トラブルシューティング

本製品を使用中に問題が発生した場合は、下記をご確認いただき、対処方法に従ってください。
問題が解決しない場合は使用を中止し、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

No.	問題	確認内容・対処方法
1	車いすの操作が重い	<p>駐車ブレーキがかかっていますか？ ➡ 駐車ブレーキを解除してください。(P.11 参照)</p> <p>充電残量ランプが点灯していますか？ ➡ バッテリーが正しく装着されているか確認してください。(P.10 参照)</p> <p>充電残量ランプが2つ以上点灯していますか？ ➡ バッテリーを充電してください。(P.9 参照)</p> <p>気温が高い環境下で使用していませんか？ ➡ 本製品の温度が高くなっているときに、一時的にアシストを制限することがあり、故障ではありません。</p> <p>坂道など負荷の高い路面で長時間使用していませんか？ ➡ モーターの温度上昇に伴うシステム保護のため登坂／降坂時に徐々にアシスト力が低下します。(P.15 参照) アシストが制限された状態で車いすを操作する場合は、通常時に比べて、より強い力が必要になります。 アシスト制限中に車いすを重く感じる場合は、モーターを冷ますために、平地など安全な場所まで移動し、一度電源を OFF にしてください。 モーターの温度が下がるまで一定時間待ってから、再度電源を ON にして使用してください。</p>
2	真っすぐ前進できない	<p>手押しハンドルを押すと左右の電動駆動輪が回りますか？ ➡ 左右両方が回っていない場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
3	車いすの操作中にガタつきがある	<p>タイヤ表面に釘が刺さっているなど、異物はありませんか？ ➡ 釘が刺さっている場合は、使用を中止して裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
4	走行距離が短い	<p>バッテリーは十分に充電されていますか？ ➡ バッテリーを充電してください。 充電したバッテリーでも短い時間しか使えない場合は、バッテリーを交換してください。</p>
5	駐車ブレーキが効きにくい	<p>駐車ブレーキシューと主輪、電動駆動輪の隙間が 2 mm 以上開いていませんか？ ➡ 駐車ブレーキレバーを調整してください。 裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>エアレス仕様タイヤではない場合、タイヤの空気は十分に入っていますか？ ➡ タイヤの空気を補充してください。タイヤの空気入れについては、車いすの取扱説明書をご確認ください。</p>

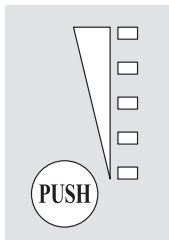
トラブルシューティング (つづき)

No.	問題	確認内容・対処方法
6	介助ブレーキが効きにくい	<p>ブレーキワイヤーの張りは適当な状態になっていますか？</p> <p>➡ 介助ブレーキのワイヤーを調整してください。 裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <hr/> <p>ブレーキシューが摩耗していませんか？</p> <p>➡ ブレーキシューを交換してください。 裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
7	操作中に車いすから異音がする	<p>各部のネジに緩みなどはありませんか？</p> <p>➡ ガタガタと音がする場合は、固定部が緩んでいる可能性があります。異常を感じる場合は、直ちに使用を中止して、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
8	煙が出たり、異臭がする	<p>➡ ただちに使用を中止して、電源を OFF にしてから、バッテリーを取り外してください。 裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
9	「ピピピ、ピピピ、ピピピ…」と連続してブザーが鳴る	<p>電源 ON の状態で、放置していませんか？</p> <p>➡ 電源 ON にして、車いすが停止している状態で、3 分間経過するとブザーが鳴り、お知らせします。故障ではありません。</p>
10	ブザーが鳴り、充電残量ランプの一番下が、点滅する  ➡  ➡  ➡ …	<p>➡ バッテリーを充電してください。(P.9 参照)</p>
11	ブザーが鳴り続け (ピーー…)、充電残量ランプが上から順に消灯した後、電源 OFF (シャットダウン) する  ➡  ➡  ➡  ➡ …	<p>使用温度範囲外で使用していませんか？</p> <p>➡ 使用温度範囲内でご使用ください。(P.23 参照)</p>
12	電源を ON にした後に、充電残量ランプの一番上と一番下が、点滅する  ➡  ➡  ➡ …	<p>➡ バッテリーの規定充電回数を超えて使用しています。 裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
13	ブザーが連続で鳴り (ピピピピ…)、充電残量ランプの 1 つが上から順に消灯する  ➡  ➡  ➡  ➡ …	<p>➡ 一度電源を OFF してから、再度電源を ON にしてください。(P.12 参照)</p>

No.	問題	確認内容・対処方法
14	ブザーが2秒間隔で鳴り (ピッ・・・、ピッ・・・、 ピッ・・・)、アシストが弱 まる	<p>➡ 保護機能 (P.15 参照) によるアシスト制限中に、電源 ON のまま使用を継続し、さらにモーター温度が上昇して一定の温度に達すると、故障防止のためブザーが鳴り高温度状態をお知らせします。</p> <p>ブザーが鳴った場合は、平地など安全な場所まで移動して、一度電源を OFF にしてください。</p> <p>移動後、モーターを冷ますために一定時間経過してから再度使用してください。</p>
15	ブザーが連続で鳴り (ピピ ピ、ピピピ、ピピピ)、ア シストが OFF になる	<p>➡ No.14 のブザーが鳴ってから、電源 ON のまま使用を継続し、さらにモーター温度が上昇して故障のおそれがある場合は、故障を防止するため、ブザーが鳴り自動的にアシスト機能が OFF になります。(P.15 参照)</p> <p>ブザーが鳴った場合は、平地など安全な場所まで移動して、一度電源を OFF にしてください。</p> <p>移動後、モーターを冷ますために一定時間経過してから再度使用してください。</p>
16	ブザーが鳴り、充電残量ラ ンプの一番上が、点滅する  →  →  → ...	<p>バッテリーが高充電状態のときに、稀にエラーが発生することがあります。</p> <p>➡ 再度電源を ON にしたときに、ON にならない場合は、バッテリーの交換が必要です。</p> <p>裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
17	ブザーが鳴り続け (ピーー・・・)、充電残量ラ ンプが下記のいずれかのパ ターンで点滅する  →  →  → ...  →  →  → ...  →  →  → ...	<p>➡ 電源を OFF して、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
18	充電残量ランプが 2 回点滅する  →  →  →  →  (充電残量表示に 戻る)	<p>➡ 介助ブレーキレバーを握り続けると充電残量ランプが 2 回点滅します。</p> <p>これはメンテナンス時に用いる機能であり、故障ではありません。そのまま使用を継続しても問題ありません。</p>

トラブルシューティング (つづき)

充電

No.	問題	確認内容・対処方法														
19	アシストユニットの電源が入らない	<p>バッテリーの充電残量が残っていますか？</p> <p>➡ バッテリーの残量表示ボタンを押して、残量表示ランプでバッテリーの充電残量を確認してください。</p> <p>充電残量が残っていても電源が入らない場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <div><table><tr><th>残量ランプの表示</th><th>充電残量（目安）</th></tr><tr><td>5 個点灯</td><td>90% 以上</td></tr><tr><td>4 個点灯</td><td>70% ～ 89%</td></tr><tr><td>3 個点灯</td><td>50% ～ 69%</td></tr><tr><td>2 個点灯</td><td>30% ～ 49%</td></tr><tr><td>1 個点灯</td><td>10% ～ 29%</td></tr><tr><td>1 個点滅</td><td>10% 未満</td></tr></table></div>	残量ランプの表示	充電残量（目安）	5 個点灯	90% 以上	4 個点灯	70% ～ 89%	3 個点灯	50% ～ 69%	2 個点灯	30% ～ 49%	1 個点灯	10% ～ 29%	1 個点滅	10% 未満
残量ランプの表示	充電残量（目安）															
5 個点灯	90% 以上															
4 個点灯	70% ～ 89%															
3 個点灯	50% ～ 69%															
2 個点灯	30% ～ 49%															
1 個点灯	10% ～ 29%															
1 個点滅	10% 未満															
20	バッテリーが充電されない	<p>充電器のプラグはしっかりコンセントに差し込まれていますか？ バッテリープラグと充電器のコネクタがしっかり接続されていますか？</p> <p>➡ しっかりと接続しなおしてください。</p>														
21	充電中に充電器の状態表示ランプ（緑）がゆっくり点滅する	<p>約 0℃～ 10℃の環境で充電されています。</p> <p>➡ 充電は開始されています。しばらく放置すると、正常に充電が始まり、状態表示ランプが赤の点滅になります。（P.9 参照）</p>														
22	充電開始時に充電器の状態表示ランプ（緑）が点滅する	<p>使用温度範囲外で充電していませんか？（P.23 参照）</p> <p>➡ 使用温度範囲内の場所でバッテリー、充電器をしばらく放置してください。その後、使用温度範囲内の場所で充電してください。</p>														
23	充電中に充電器の状態表示ランプ（赤）と状態表示ランプ（緑）が同時に点滅する	<p>➡ 一度、充電器のコンセントを抜いてください。</p> <p>充電器の状態表示ランプが消灯したことを確認した後、再度コンセントを接続してください。</p> <p>状態が変わらないようであれば、バッテリーが故障している可能性がありますので、バッテリーを交換してください。</p> <p>裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>														

仕様一覧

● アシストユニット仕様

アシストユニット重量	約 8.5 kg (バッテリー除く)
サイズ	取り付ける車いすに準ずる
耐荷重	取り付ける車いすに準ずる
制御方式／駆動方式	マイコン制御／電動モーター駆動
実用登坂角度	14° 搭乗者 75 kg 想定 (積載物含む) ※ ¹
アシスト速度範囲	～ 6 km/h
連続走行距離	18 km (速度 4 km/h で 4.5 時間) ※ ²
使用温度範囲	0 °C ～ 40 °C (結露のないこと)
保管温度範囲	-20 °C ～ 50 °C
防水・防塵性能	IP54 高圧洗浄は不可

※ 1：手動車いすに対して押す力が 50% 以下を確保できる角度
(ただし、使用状況により車いすの操作が重たくなることがあります。P.15 参照。)

※ 2：バッテリー新品・満充電状態、周囲温度 25 °C、搭乗者体重 75 kg、
ジェイテクト規定パターン (平坦 75%・登坂 25%)

● バッテリー

使用電池	リチウムイオンバッテリー
電圧	25.2 V
定格容量	8.4 Ah
重量	約 1.45 kg

● 充電器

電源	AC 100 ～ 240 V (50 Hz/60Hz)
定格出力	DC 28.7 V 2.5 A
使用温度範囲	0 °C ～ 40 °C (結露のないこと)
重量	約 0.51 kg

お問い合わせ先

本製品の操作方法、故障、修理に関するお問い合わせ、消耗品の購入、本製品および付属品の廃棄に関するご連絡につきましては、下記までご連絡ください。

販売元

製造元

日進医療器株式会社

〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現 35-2
TEL: <0568> 21-0635 (代) FAX: <0568> 23-2787

- ・保証期間や保証規定については車いすの取扱説明書をご確認ください。
- ・本書の内容は 2023 年 6 月現在のものです。
- ・軽 e は株式会社ジェイテクトの登録商標です。
- ・使用済みのバッテリーはリサイクルのため回収しております。
回収については、お問合せ先にご連絡ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ